



リンドウホソハマキに対する数種殺虫剤の防除効果

【1 成果の概要】

(1) 近年、岩手県内のりんどう圃場では、リンドウホソハマキによる被害(右写真)が多く見受けられ、防除対策が求められています。そこで、リンドウホソハマキに対する数種殺虫剤の防除効果を明らかにしました。

(2) その中でも、スピネトラム水和剤(商品名:ディアナSC)と、フルベンジアミド水和剤(商品名:フェニックス顆粒水和剤)は防除効果が高く、圃場試験において、岩手県病害虫防除指針に既採用のアディオンフロアブルと比較しても、りんどう生長部の食害を効果的に減少させることがわかりました(下表)。

(3) この結果から、平成25年度岩手県病害虫防除指針において、リンドウホソハマキを対象とした効果適用表の記載を以下のように変更しました。

アディオンフロアブル: → ○

ディアナSC: (○)(新規記載)



写真 リンドウホソハマキによる

りんどう生長部の食害(○で囲んだ部分)

表 リンドウホソハマキに対する数種殺虫剤の防除効果(圃場試験)

供試薬剤	希釈倍率	連制	調査 茎数	生長部 食害茎数	被害 茎率	被害茎率 対無処理比
アディオンフロアブル	1,500	I	317	12	3.8	22.3
		II	205	7	3.4	
		平均	261.0	9.5	3.6	
フェニックス顆粒水和剤	2,000	I	280	2	0.7	7.3
		II	241	4	1.7	
		平均	260.5	3.0	1.2	
ディアナSC	2,500	I	339	1	0.3	0.9
		II	350	0	0.0	
		平均	344.5	0.5	0.1	
無処理		I	199	25	12.6	(100)
		II	157	31	19.7	
		平均	178.0	28.0	16.2	

試験場所:花巻市の現地圃場

薬剤処理日時:平成24年6月5日および6月15日

調査月日:2回目処理の10日後にあたる6月25日に、各調査区の全茎について、生長部の食害数を計数しました。

【2 留意事項】

農薬選択の際には平成25年度病害虫防除指針を参考にするとともに、必ずラベルを確認し、使用基準を遵守しましょう。